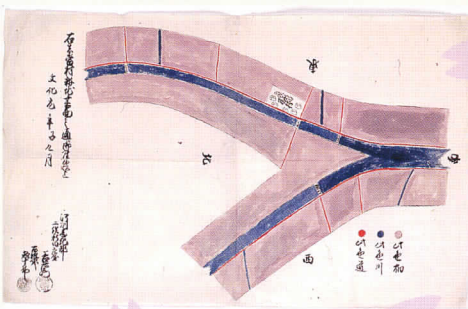


令和2年度 春季企画展

2021年 3月 27日(土)

入館無料

~ 6月 13日(日)



ながせがわ 長瀬川 と たまぐしがわ 玉串川

大和川付け替えに伴って作られた水路は、
広大な田畑を潤し、人々に見守られてきた。
そして、今日も流れている。

世界かんがい施設遺産

2018年8月認定

館長と学芸員河内の古道講座

3月27日(土)/4月24日(土)

5月22日(土)/6月26日(土)

講師：安井裕史(当館館長)

会場：当館研修室

時間：13:30 ~ 15:00

(13:00より受付)

定員：70名

参加費：200円

申込：不要・先着順

史跡 高井田横穴特別公開

5月15日(土)

10時~15時

学芸員によるガイドツアー

10時~11時・13時~14時

定員：各回20名

参加費：無料

申込：不要

共催：築留土地改良区
協力：アクアフレンズ

柏原市立歴史資料館

月曜休館(祝日は開館)入館無料

9:30 ~ 17:00 (入館は16:30まで)

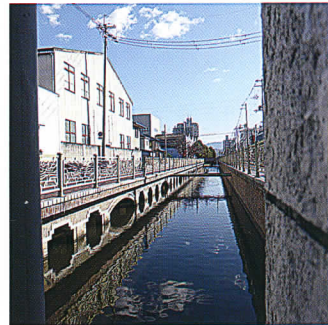
JR 高井田駅から徒歩約5分 / 近鉄 河内国分駅から徒歩約15分

大阪府柏原市高井田 1598-1

問い合わせ先 * 柏原市立歴史資料館 ☎ 072-976-3430



TAMAKUSHIGAWA



NAGASEGAWA



* 新型コロナウイルス感染症の状況により
中止または延期する場合があります。
* 館内では、マスクの着用、手指の消毒、
対人距離の確保をお願いします。

世界かんがい施設遺産

ながせがわ たまくしがわ 長瀬川と玉串川

宝永元年（1704）の大和川付け替え後、旧川筋に用水路が設けられました。長瀬川と玉串川です。二つの水路は流域の村々によって結成された築留樋組^{つきどめひぐみ}によって維持管理され、田畑の用水として利用されてきました。これが現在の築留土地改良区につながっています。今では用水路としての役割は小さくなりましたが、流域の人々が水に親しむ空間になり、市民の生活に溶け込んでいます。

この長瀬川と玉串川は、正式には「大和川分水築留掛かり^{やまがわぶんすいつきどめか}」といます。その「大和川分水築留掛かり」が、平成 30 年（2018）8 月に、世界かんがい施設遺産に認定されました。世界かんがい施設遺産とは、国際かんがい排水委員会（ICID）が、かんがいの歴史・発展を明らかにし、理解を深めるとともに、かんがい施設の適切な保全を行っていくために認定、登録する制度です。長瀬川と玉串川の歴史、流域規模、市民との関わりなどが評価されたもので、大阪府では狭山池、久米田池に続いて3例目の登録となりました。

これを記念して、長瀬川と玉串川について、その歴史をみなさんに紹介したいと思います。二つの水路がなぜ設けられたのか。これまでどのように維持管理されてきたのか。流域の人々の生活とともに歩んできた二つの水路に注目してみましょう。知らなかった長瀬川と玉串川を発見できると思います。今回の企画展では、長年維持管理にあたってこられた築留土地改良区に共催いただき、流域でさまざまな活動を活発に展開されているアクアフレンズのご協力をいただきました。ご協力に感謝します。

—主な展示資料—

用水組合村々定証文、旧大和川敷築留樋組用水井路測図、一番樋・三番樋工事写真、世界かんがい施設遺産認定賞状・盾（以上築留土地改良区所蔵）、角倉支配組合村絵図、築留青地樋用水組合村々絵図、二俣新田絵図、天王寺屋新田絵図、築留樋前堀関仕形絵図、大和川堤・樋・井路絵図、七拾八ヶ村用水井路絵図（以上当館所蔵・寄託）



築留二番樋（国登録文化財）